

# つまずき解消の徹底と学習習慣形成の好事例についで

夏季休業中の校内研修において、学力・学習状況調査結果を基に、自校の児童生徒のつまずき解消に向けた、焦点化した取組の推進について共有を図られたことと思います。県全体での課題としては、前学年や前単元におけるつまずき解消が不十分で、基礎学力の定着に至っていないこと、また、中学校では、家庭での学習時間が全国最低水準であることが挙げられます。本通信では、これらの課題に対して成果を挙げている学校の取組を紹介しします。ぜひ自校での取組の参考にしてください。



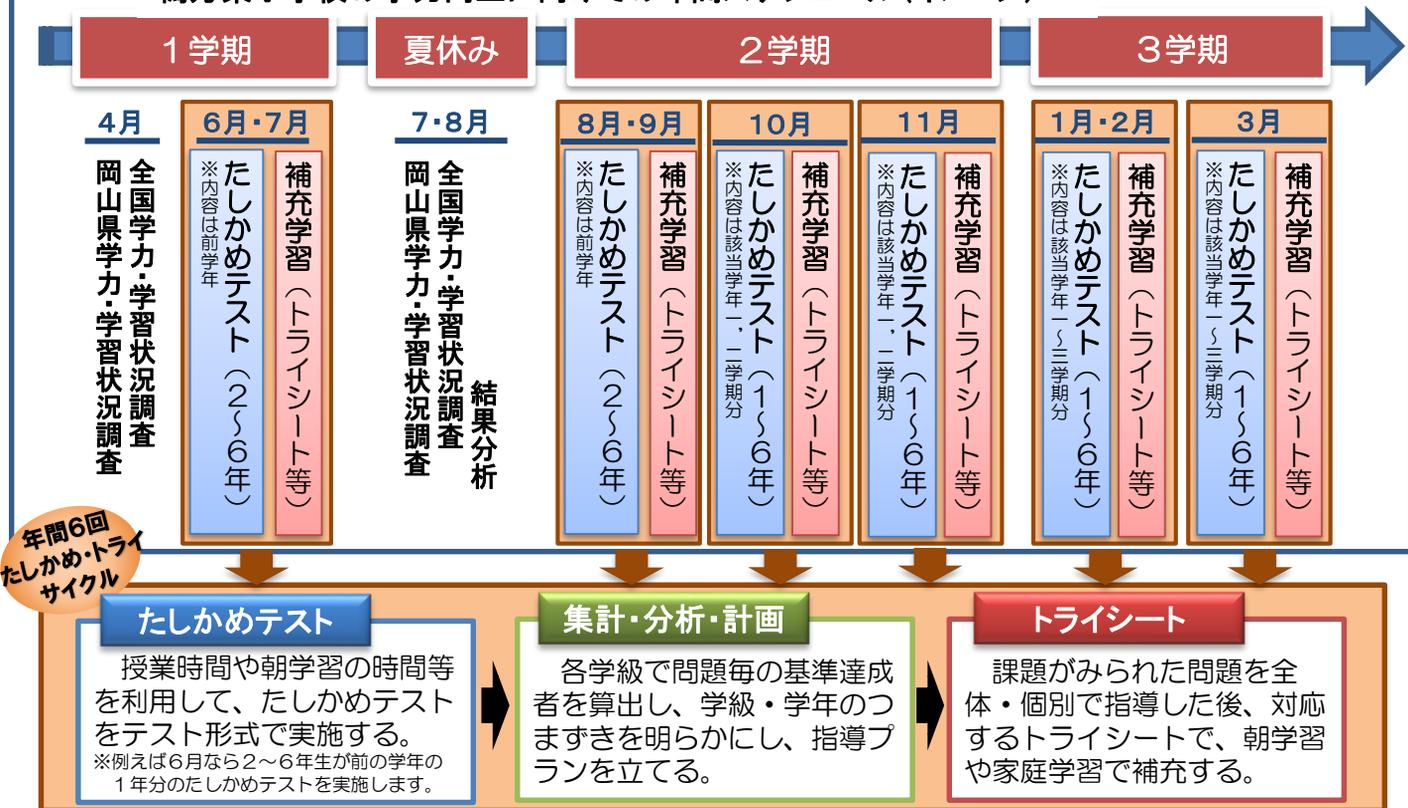
「たしかめ・トライシート」を活用した振り返り学習の徹底

〔情報提供〕

浅口市立鴨方東小学校

県教育委員会が学力調査の結果に基づいて作成した課題集である「たしかめ・トライシート」は、学習内容の定着状況を把握ができる「たしかめテスト」と、たしかめテストの類似問題に取り組むことができる「トライシート」で構成されています。鴨方東小学校ではこの問題集を、各学年や学校としての課題を克服するために活用しています。

## 鴨方東小学校の学力向上に向けての年間スケジュール(イメージ)



### チェック表

### 【見本】

学級ごとに集計

国語たしかめテスト		チェック用 ( 年 組 )	
		( 1 ) 回目	( 6 月 25 日 )
三-①	一	漢字辞典 言葉の並び順	31人
	二	同じ漢字の音読み・訓読み	32人
	三	こそあど言葉	24人
三-②	四	主語・述語・修飾語	14人
	五	はがき・手紙 書き方	26人

問題毎に基準(8割が目安)を設定して、基準を満たした人数が何人いるか集計する。

例えば、基準を達成した人数が、学級34人中14人と少なく、全国や県調査でも課題であることから、補充学習の必要があると判断します。

### 取組から見える工夫

- 年度初めに全教職員で「たしかめ・トライシート」の活用方法について研修し共通理解を図っている。
- 年間6回の「たしかめ・トライ」サイクルにより、課題を確実にとらえ、その克服を徹底している。
- 担任に負担が偏らないよう、集計・印刷・丸付け・補充などの役割分担をきちんとしている。
- 県教委作成の課題集を活用することで準備に要する時間を減らしている。

今まで県教育委員会が作成した様々な課題集をより使いやすくするために、小中学校別に一覧表にまとめました。ぜひ活用ください。



お知らせ

